

# きこえとことば通信

令和8年(2026)3月  
小金井第二小学校  
こだま学級  
Tel.042-385-3327

今回で今年度最後のきこえとことば通信となります。この1年間で子供たちは、大きく成長しました。通級の授業では、その1年間の頑張りや成長を振り返り、学習のまとめをしているところです。子供たちの成長を認め、自信をもって新年度を迎えられるようにしていきます。

3月末で6年生8名を含む19名の子供たちがこだま学級を巣立っていきます。卒業・退級されても、こだま学級の職員一同は、ずっと皆さんのことを応援しています。通級を継続される方は、来年度もよろしくお願いたします。今日まで、温かいご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。

## 全体グループ学習～卒業を祝う会～



3学期は、こだま学級を卒業する友達をみんなでお祝いします。  
好きなことや頑張ったことを発表したり、ゲームを通して交流したりしながら、楽しい時間にしたいと思います。  
今年度最後のグループ学習です。ご参加お待ちしております。

日時：3月4日(水) 15:15～16:30 (受付 15:00～)  
場所：こだま学級 プレイルーム



## ★3月・4月の予定★



3月 3日(火)	3学期 個別指導終了
3月 4日(水)	全体グループ学習(15:15～16:30 @こだまプレイルーム)
3月11日(水)	吃音グループ学習(15:00～16:30 @こだまプレイルーム)
3月18日(水)	きこえグループ学習(15:15～16:30 @こだまプレイルーム)
4月14日(火)	保護者会 9:30～10:30 *学級説明・担任紹介・通級日時と担当者をお伝えします。
4月17日(金)	1学期 通級指導開始

## 【お知らせ】

令和8年度の通級予定者は、クラスと担任の先生が分かりましたら、こだま学級まで、電話にてお知らせください。同時に、4月の保護者会の出欠についてもお知らせください。



## ～やる気を育てるかわり・言葉かけ～

電子書籍を眺めていると、『天才を育てた親はどんな言葉をかけていたのか？』（真田知幸・親野智可等著）という本を見かけました。「天才はこう言った!」、「天才の名言集!」などは歴史の授業や伝記を通してよく見ていましたが、天才の親の言葉かけに視点を当てた本は見たことがありませんでした。

その本では、「学校へ行きたくない子への言葉かけ」の例として、発明王エジソンと数学者森毅の親を挙げていて、学校へ行きたくないSOSの気持ちへの共感やその原因の観察の重要性が書かれていました。その他に、様々な偉人の親の言葉かけを例に挙げて、自信をもてない子や進路に悩む子、なかなか結果の出ない子に対して、親は子供の一番身近なサポーターとして、努力を肯定し、あなたならできるという応援や信頼を寄せることが子供に良い影響を与え、発展的な思考を生み出していくとありました。

「なるほど。」と思いましたが、本には具体的な生活場面の言葉かけは書かれていませんでしたので、今回はAmazon創業者ジェフ・ベゾス氏などの世界を股に掛けるCEOたちや今話題の藤井聡太棋士が受けたモンテッソーリ教育で使われている言葉かけをいくつか紹介していきます。

### ◇◇◇ ほめて伸ばしたい時の言葉かけ ～プロセスほめをしよう～ ◇◇◇

ほめるのが大事だから、「すごいね」「上手」とたくさん言いますよね。ただこの言葉だけでは、具体性が欠けていて、子供には何が良かったのか伝わりません。そこで、子供の努力や頑張ったことに焦点を当てた「プロセスほめ」を心がけましょう。成果や子供の性格・能力を称賛するのではなく、途中経過をよく観察し、認めて声をかけることで、子供は結果に固執せず、挑戦を恐れないこと、失敗することに興味をもつこと、努力を楽しむことを学ぶことができます。

### ◇◇◇ しかる時・やってほしい時の言葉かけ ～決めるのも子ども、やるのも子ども～ ◇◇◇

言葉かけはI（アイ）メッセージで伝えましょう。「あなたは～するべきだ・しなさい」と言われたら、決めつけられた感じがして反発したり、自分で考えても無駄だと感じてやる気をなくしたりする子供もいるでしょう。そこで、気持ちに共感しつつ、「私（I）は～だと思うけど、どうする?」という伝え方をすると、自主性が尊重され、自分の意思で行動できるようになります。

また、大人は子供のできないところに注目しがちです。普段からできていることについてもポジティブな言葉かけをしていきましょう。ダメなことばかりを指摘されるのは大人でも嫌ですよ。

最終的に、決定して、行動するのは子ども自身です。自分で考えて決めさせる練習を積みましょう。

### ◇◇◇ 考える力を刺激する言葉かけ ～色々な質問の方法～ ◇◇◇

家に帰ってきた子供に「今日学校どうだった?楽しかった?」と聞くと、「ふつう」や「わからない」と答える時があると思います。「どう?」という質問は、子供によっては範囲が広すぎるかもしれません。そこで、最上級形容詞を使ってさらに絞った質問をしてみましょう。（「今日一番楽しかったことは何?」）そこからまた詳しく掘り下げて話すことができます。また、「はい」「いいえ」で答えられるクローズ質問よりも自由会話形式で答えられるオープン質問をすることで、子供の考えを広げ、自分の思いを伝えることに自信がもてるようになります。子供がやっていることを客観的に話すパラレルトーク（「とめ・はね・はらいに気を付けて、丁寧に書いているね。」）も、ほめる言葉かけにも、言語力アップにもつながります。

子供と会話をすることは言語や考える力の発達に役立つばかりではなく、親子の絆を深めるためにも大切です。子供との喜びを共有し、会話を楽しみましょう。